



「ボランティアとは何か
～楽しさ・生きがいとしてのボランティア」
講師 内海 泰子 氏 (岩見沢市ボランティアセンター長)
ボランティアの歴史、活動の性格、活動の心構え、必要な条件などについて、楽しく活動できるようお話しされました。

ボランティアの心

人は誰かと、また、誰かに支えられて生きているので、一人で生きて行くことは難しいと思います。そこで、お互いを理解し、心を通じ合わせ、思いやり(気付きの心)と心配り、そしてやさしさと協力があって初めて地域の中、社会の中で共に暮らし、支え合って生きていくことができるのだと思います。



実践報告



田村 弘子 さん

松本 徹也 さん

田村さんは「ひとみの会」の代表をされて、老人ホーム「こぶし」訪問(喫茶、レクレーション)、クピドフェア「夏祭り」出店、市内施設で年13回レク訪問を通して活動されています。

松本さんは岩見沢スキーパトロール赤十字奉仕団、岩見沢市救急法赤十字奉仕団の代表をされ、個人として多方面でボランティアを実践されています。お二人にボランティア活動を始めたきっかけや課題、やりがいなどについて報告していただきました。

体験を終えて

車いす介助について演習をしました。



坂道での操作

介助される方が安心して利用できるようになるためには、練習を重ねることが必要と思います。次回も受講し、活動に繋がりたいと思います。



段差での操作



おもいあい

〒068-0031 岩見沢市11条西3丁目 岩見沢広域総合福祉センター
岩見沢市ボランティアセンター TEL・FAX25-5516
岩見沢市社会福祉協議会 TEL 22-2960



日時 平成30年2月27日(火) 13時30分~16時
場所 岩見沢広域総合福祉センター 研修室1・2・3 参加者 74名
内容 講話 「百餅祭りの歴史について」
講師 郷土史を学ぶ会 会長 尾崎 和男 氏



ふるさと百餅祭りのあゆみ

1983年(昭和58年)街の活性化事業の一環として発足。岩見沢特産品の米(餅米)を使ったダイナミックな祭りです。

岩見沢開基100年を迎えた年であった事、9月15日が敬老の日であった事と、「100歳まで生きる」という願いを込めて100という数にこだわり、祭りの名を「ふるさと百餅祭り」と名付けた。

五穀豊穡・商売繁盛・長寿・岩見沢市の発展を祈願し、世界一の大白でついたお餅を祭りに参加した皆様に提供しています。



講話の感想

★主催者の方々が大変ご苦労されたお話を聞く事ができ良かったです。大変な中でも楽しんでいらっしやった様子を感じられました。

★長い歴史には色々な人が力のようになってくれたのだと思った。すんなり運んだわけではなく苦労をされたことを知れた。

★百餅祭りの苦労がわかり、また親しみができました。大事にしたいお祭りです。

★活動初期の苦労話が大変興味深かった。

★語り継がれることの大切さをつくづく感じました。

ボランティアセンターからのお知らせ

今年度から年3回【6月・10月・3月】発行の「おもいあい」に、みなさんの趣味や特技の作品コーナーを作ります。

随時受け付けますので応募してください。お待ちしております。

問い合わせ・岩見沢市ボランティアセンター
TEL・FAX 25-5516



ボランティア活動に関する相談は、ボランティアコーディネーターがお受けします。

あなたも、ボランティア活動に参加しませんか。連絡をお待ちしています。

相談時間 月曜日から金曜日まで
10時30分~15時30分
(土・日・祝日・お盆・年末年始はお休みします。)

平成29年度 指定地域福祉教育セミナー

平成29年11月21日(火) 13:30~16:00 岩見沢広域総合福祉センター

目的 次世代を担う子どもたちの福祉・ボランティアに対する理解と関心を高める

内容 実践発表 志文小学校 明成中学校
基調講演 「福祉の学習の基本的な考え方とは」
 講師 北広島市立東部小学校 校長 設楽 正敏 氏
情報交換 「福祉教育の取組みについて」



実践発表では、リサイクル活動、募金活動、朝の挨拶運動、校内の清掃活動、地域の方と触れ合うフェスティバルへの参加等、さまざまなボランティア活動への取組みが報告されました。また、学校では〇〇教育と付くものがたくさんあり、人員・時間の確保・どのように教えるかなど、限られた時間の中で対応することが非常に難しくなっているとのことでした。

設楽先生からは、教育課程では何年生で何をやるかが決まっています、前年度の内容をそのまま使う場合もあるが、配慮の足りない部分も出てくるので、見直しが必要になってくるというお話がありました。

認知症サポーター養成講座

とき : 平成29年12月12日(火)
 13時30分~16時
 ところ : 岩見沢広域総合福祉センター

講師
 岩見沢市高齢介護課介護保険グループ
 担当主任 北辻 美穂 氏



認知症とは？

脳の働きに不都合が起こり、記憶や思考、感情、からだ全体の働きのコントロールが難しい状態が継続していること。

サポーターとは？

認知症への「理解者」であり、認知症の方やその家族の「応援者」です。

加齢による物忘れと認知症の記憶障害とは違いがあります。時間や季節感覚が薄れる、同じ食材が冷蔵庫に溜まりだすことも特徴です。早期診断、早期治療が大切。

体験演習「ふまねっと体操」
 会長 鎌田 清美 氏



「ふまねっと運動」

「四角いあみ=ネット」を「踏まないように」歩きます。運動+頭の体操、歩行時のバランス改善や認知機能を改善する働きがあるそうです。一人で練習することもできますが、大勢で楽しむことが継続に繋がります。



男性のための料理教室

おやじのためのkitchen

日時 平成29年11月16日(木) 9:30~12:30
 場所 岩見沢市生涯学習センター「いわなび」料理講習室

平成17年度から始めました料理教室も13回目となりました。16名の参加者と講師のボランティアセンター 内海 泰子センター長ほか6名のスタッフにより、ツナときのこの炊き込みご飯、豆苗の牛肉巻きソテー、かぼちゃのミルク煮、ツナとセロリの味噌和え、味噌汁の5品を作りました。

会食では、「大変おいしくでき自信がついた」「またの開催を期待する」等のご意見をいただきました。

豆苗の根元をカット



いただきます



朗読録音ボランティア講座

平成29年11月17日・24日・12月1日

受講者 6名

講師 日本盲人社会福祉施設協議会認定

音訳指導員 合田 由紀子 氏



視覚に障がいのある方の「目のかわり」としての朗読(音訳)について、基本的な心構えと知識、基礎的な技術と手順や方法について学習しました。大事なことは素直な読みと母音をきれいに発音することです。

視覚障がい者と情報

岩見沢視力障害者福祉協会
 吉井 俊明 氏

生まれてすぐ視力を失い、聴くことによって想像を広げるそうです。

岩見沢視力障害者福祉協会に加入されている方は34名、そのうち中途失明の方が8割おられるとのことでした。

最終日は、さつきの会の指導を受けて、一人ひとりが朗読し、録音CDにさせていただきました。

少人数だったので、充実した講習を受けられました。

